

漢方製剤

オースギ桂枝茯苓丸料エキスG

けい し ぶく りょう がん
(桂枝茯苓丸)

承認番号	(61AM) 第3869号
薬価収載	1986年10月
販売開始	1986年10月

貯法：室温保存
「取扱い上の注意」
の項参照
使用期限：容器又は外箱に表示

【組成・性状】

(1)本剤は1日量4.5g中、下記生薬より抽出した水製乾燥エキス(桂枝茯苓丸料エキス)2.0gを含有する。

日局 ケイヒ	4g	日局 トウニン	4g
日局 ブクリョウ	4g	日局 シャクヤク	4g
日局 ボタンピ	4g		

添加物として、乳糖水和物、トウモロコシデンプン、ステアリン酸マグネシウムを含有する。

(2)本剤は淡灰茶褐色の顆粒で、わずかににおいがあり、味は初めやや甘く、後苦い。

識別コード：SG-25

【効能又は効果】

比較的体力があり、ときに下腹部痛、肩こり、頭重、めまい、のぼせて足冷えなどを訴える次の諸症：月経不順、月経異常、月経痛、更年期障害、血の道症、肩こり、めまい、頭重、打ち身(打撲症)、しもやけ、しみ

【用法及び用量】

通常、成人1日4.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

(1)慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)
著しく体力の衰えている患者[副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。]

(2)重要な基本的注意

1)本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。

2)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

(3)副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

1)重大な副作用

肝機能障害、黄疸：AST(GOT)、ALT(GPT)、A1-P、γ-GTPの上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

2)その他の副作用

	頻度不明
過敏症 ^{注1)}	発疹、発赤、痒痒等
消化器	食欲不振、胃部不快感、悪心、下痢等

注1)このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

(4)高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

(5)妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないことが望ましい。[本剤に含まれるトウニン、ボタンピにより流早産の危険性がある。]

(6)小児等への投与

小児等に対する安全性は確立していない。[使用経験が少ない]

【取扱い上の注意】

- ・直射日光を避け、湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- ・本剤は天然の生薬を原料としていますので、色や味等に多少の差異を生じることがありますが、効果に変わりありません。

【包装】

500g	
441g	(1.5g × 294包)
126g	(1.5g × 84包)

【文献請求先】(お問い合わせ先)

大杉製薬株式会社 医薬情報部
〒546-0035 大阪市東住吉区山坂1-8-6
TEL 050-3776-0358